



**自由党**  
LIBERAL PARTY

衆議院議員

玉城デニーPRESS

自立と共生

ひたむきに沖縄

Vol. 58

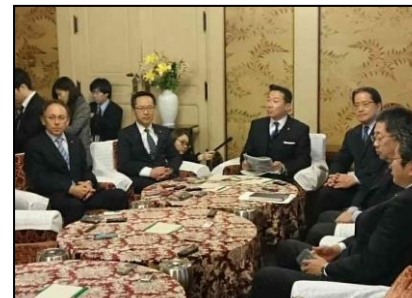


### ◆森友学園文書改ざん問題

3月12日（月）、財務省は学校法人「森友学園」への国有地売却に関する決裁文書が書き換えられていることを公表しました。玉城デニーは、連日、野党幹事長・書記局長会談や国会対策委員長会談及び「森友文書」ねつ造疑惑野党合同ヒアリングに出席し、真相究明の最前線に立っています。

財務省の決裁文書14件310か所の書き換えが明らかになりましたが、これは、もはや「書き換え」ではなく、意図的な「改ざん」であり、真実の「隠ぺい」と言わなければならないと思います。前代未聞の「立法府の危機」であり、「国民はいったい何を信頼すれば良いのか？」という極めて深刻な事態であり、犯罪行為にも等しいものです。

玉城デニーは、立法府の一員として、野党6党で一致団結し、証人喚問による真相究明と、財務大臣の責任、安倍内閣の責任を断固追及してまいります。



### ◆緑ヶ丘保育園父母会 東京要請行動報告会に出席

昨年12月、宜野湾市にある緑ヶ丘保育園の屋根に米軍機のものと思われる部品が落下した事故を受け、同保育園父母会は今年2月に保育園上空の米軍機飛行停止を求める12万6千907筆の署名を防衛省・外務省・内閣府に提出、要請を行い、その報告会が3月11日に開催されました。（最近の集計では13万4千256筆に達しています）

部品が落下した地点は園児たちが普段遊んでいる園庭からわずか50cmで、報告会では子どもたちが危険にさらされたことに対する保護者の悲痛な想いや、事故から要請行動までの経緯などを報告されました。

玉城デニーは事故後に現場を視察し、東京での政府と各省庁関係機関への要請行動を父母会と共に行ってまいりましたが、非情にも保育園上空を米軍機が飛び交う状況は変わらず、再発防止策はおろか事故の検証も不十分な現状にあります。

立て続けに部品落下事故が発生し、それでもなお学校や保育園の上空を米軍機が飛び続けるのは極めて異常です。玉城デニーは子どもたちの安全を守るようこれからも強く求め続けてまいります。

## 《沖繩市長選挙：諸見里ひろみ氏の推薦を決定！》

自由党沖縄県総支部連合会は、4月15日告示・22日投開票の沖繩市長選挙におきまして諸見里ひろみ予定候補者の推薦を決定しましたのでお知らせいたします。

★年間を通して党员・サポーター及びボランティアを募集しています！

～このプレスの配信停止やご意見などございましたら、ご連絡をお願い致します～

平成30年3月15日発行：衆議院議員 玉城デニー事務所（担当：喜久村）

TEL.098-929-2416 FAX.098-929-2005